


稲敷市(いなしきし)

	〒 300-0595 〈住所〉 稲敷市犬塚1570番地1 〈TEL〉 029-892-2000 〈FAX〉 029-892-0906 〈HP〉 http://www.city.inashiki.lg.jp 〈e-mail〉 00_soumu@city.inashiki.lg.jp	地域指定 成田国際空港	法人番号 4000020082295	一部事務組合加入事業 退職手当 消防員しゅつ金 交通共済 消防災害補償 非常勤公務災害 市町村会館管理 滞納処分等 し尿ごみ 建設機械 火葬場・斎場 消防 養護老人ホーム 老人福祉センター 共同研修 水防	公営企業 法適用(上水 工水) 法非適用(公共下水 特定環境下水 農業集落排水)
	類型 I-0 地方公共団体コード 082295 面積 205.81 km ²				

<行政組織>

①長等(平成28年5月1日現在)

長	たぐち ひさかつ 田口 久克 (67歳)	任期	平成29年4月30日
		就任回数	2期目
副市長	内田 久紀		

②議会(平成28年5月1日現在)

議長	浅野 信行	副議長	伊藤 均
任期	平成30年12月21日	条例定数	20人
現議員数	20人		
党派別	公明3人, 共産1人, 無所属16人		

③職員数(平成27年4月1日現在)

全職員数	普通会計関係	うち一般行政関係	公営事業会計関係
409	362	241	47
一般行政職の平均給料月額	3,208 百円	ラスパイルズ指数 96.9	地域手当補正後ラス指数 96.9
全職員数の推移	平成24年4月1日 421	平成25年4月1日 416	平成26年4月1日 415

④機構図(平成28年4月1日現在)

(政策調整部)
 政策企画課 企業誘致推進室 人口減少対策室
 秘書広聴課 シティプロモーション推進室
 (総務部)
 総務課
 財政課
 管財課 公共施設再編室
 危機管理課
 (市民生活部)
 市民協働課 東支所 新利根地区センター 桜川地区センター
 市民窓口課
 税務課
 収納課
 環境課
 (保健福祉部)
 社会福祉課 人権推進室
 生活福祉課
 高齢福祉課 いこいのプラザ 地域包括センター
 保険年金課
 健康増進課
 (産業建設部)
 農政課
 商工観光課
 建設課
 都市計画課
 (上下水道部)
 下水道課
 水道課
 (出納)
 会計課
 (教育委員会)
 教育学務課 小・中学校 教育委員会指導室
 子ども家庭課 こども園 幼稚園 子育て支援センター
 学校給食センター
 生涯学習課 国体推進室 運動公園
 公民館 コミュニティセンター
 図書館 歴史民族資料館
 (議会)
 議会事務局
 (農業委員会)
 農業委員会事務局
 (監査委員)
 監査委員事務局

<概要>

①沿革

平成17年3月22日 合併 江戸崎町 新利根町 桜川村 東町

②地勢・風土等

稲敷市は、茨城県の南部に位置し、北は霞ヶ浦、東は潮来市、南は利根川、西は龍ヶ崎市に接している。 本市では、「みんなが住みたい素敵なまち」を稲敷市の将来像として掲げている。
--

③人口・世帯数

区分	国勢調査			常住人口 (平成28年4月1日)	
	平成12年	平成17年	平成22年		
人口	男	25,435	24,582	23,232	21,044
	女	25,849	25,107	23,663	21,402
	合計	51,284	49,689	46,895	42,446
世帯数	14,423	15,043	14,809	14,502	

④有権者数(平成28年3月2日現在)

有権者数	男	女	計	高齢人口割合 30.9%
	18,103	18,337	36,440	

⑤高齢人口割合 (H28.1.1住基人口)

<産業・経済>

①生産・所得(平成25年度)

市町村内総生産	1,563 億円	就業者1人当り	7,779 千円
住民所得	1,256 億円	人口1人当り	2,819 千円

②産業構造

区分	総生産額(平成25年度)	就業人口(平成22年国調)
第1次	8,390 5.2%	1,596 7.1%
第2次	63,281 37.9%	6,950 31.0%
第3次	84,456 56.1%	11,876 53.0%
総額・総数	156,274	22,412

③農業・工業・商業

農業 (平成22年2月1日)	農家数 2,717	うち専業農家戸数 358	農業就業人口 3,340
製造業 (平成26年12月31日)	事業所数 140	従業者数 4,482	製造品出荷額等 (H26.1.1~12.31) 157,540
卸・小売業 (平成26年7月1日)	事業所数 422	従業者数 2,653	年間販売額 (H25.1.1~12.31) 55,744

④特産物

かぼちゃ、いちご、いちじく、ブルーベリー、ミルクキーウイン、レンコン、ブロッコリー、巨峰
--

<財政状況>

①決算収支

(千円・%)

区分	平成25年度決算	平成26年度決算	増減率
歳入	22,557,185	21,960,913	△ 2.6
歳出	21,141,496	20,606,759	△ 2.5
形式収支	1,415,689	1,354,154	-
実質収支	815,878	818,167	-
単年度収支	△ 1,236,347	2,289	-
実質単年度収支	△ 229,655	334,779	-

②主な歳入・歳出(平成26年度)

(百万円・%)

区分	決算額	構成比	増減額	増減率
歳入	21,961	-	△ 596	△ 2.6
地方税	5,034	22.9	48	1.0
地方交付税	6,621	30.1	△ 60	△ 0.9
国庫支出金	2,079	9.5	△ 209	△ 9.1
地方債	3,094	14.1	1,155	59.6
うち臨財債費	937	4.3	-	-
その他	5,133	23.4	-	-
うち繰入金	398	1.8	-	-
歳出	20,607	-	△ 534	△ 2.5
義務的経費	7,744	37.6	108	1.4
人件費	3,308	16.1	△ 85	△ 2.5
扶助費	2,915	14.1	89	3.1
公債費	1,521	7.4	104	7.3
投資的経費	4,327	21.0	-	-
普通建設事業費	4,124	20.0	1,756	74.2
うち補助	1,003	4.9	488	94.8
うち単独	3,085	15.0	1,277	70.6
その他の経費	8,536	41.4	-	-
うち繰出金	2,705	13.1	-	-

③主要指標(平成26年度)

・健全化判断基準

実質赤字比率	- % (12.92)
連結実質赤字比率	- % (17.92)
実質公債費比率	6.6 % (25.0) [8.0]
将来負担比率	22.8 % (350.0) [37.5]

・普通会計に関する主な指標

財政力指数(平成27年度)	0.538	[0.699]
経常収支比率	85.9 %	[88.9]
標準財政規模(平成27年度)	13,307	百万円 [15,290]
地方債現在高(A)	20,460	百万円 [23,790]
債務負担行為支出予定額(B)	120	百万円 [2,834]
積立金現在高(C)	13,156	百万円 [7,849]
将来にわたる財政負担(D=A+B-C)	7,424	百万円 [18,775]

※1 ()は早期健全化基準, []は県平均値

※2 県平均のうち実質公債費率及び将来負担比率は加重平均, それ以外は単純平均

④市町村税の状況(平成26年度)

(千円・%)

区分	調定額	収入額	徴収率 []は県平均値
市町村民税・個人 (構成比)	1,917,820 (34.3)	1,719,276 (34.2)	89.6 [92.6]
市町村民税・法人 (構成比)	545,860 (9.8)	539,380 (10.7)	98.8 [98.5]
固定資産税 (構成比)	2,613,964 (46.8)	2,282,564 (45.3)	87.3 [92.5]
市町村税合計 (国保除く)	5,586,482	5,033,779	90.1 [93.4]

<公共施設整備状況>(平成26年度) ※1は平成27年度

小学校 ※1	13 校	プール	0 か所
中学校 ※1	4 校	児童館	0 か所
幼稚園 ※1	4 園	老人福祉施設	25 か所
保育所 ※1	3 か所	病院・一般診療所	21 か所
認定こども園 ※1	3 園	道路改良率	53.8 %
図書館	1 か所	道路舗装率	59.9 %
公営住宅	238 戸	上水道等普及率	69.0 %
公民館等	4 か所	污水处理普及率	75.7 %
体育館	4 か所		

<主要施策等>

①主要施策実施状況

(百万円)

名称	期間	内容	概算事業費
人口減少対策事業 (マイホーム取得支援、空き家をお試し住宅として整備し、移住検討者への貸し出す空き家改修プロジェクトを実施します。)	H27 ~	市内への移住定住を図るため、若い夫婦世帯のマイホーム購入や三世帯同居に対する支援、空き家をお試し住宅として整備し、移住検討者への貸し出す空き家改修プロジェクトを実施します。	36
サイクリング周遊環境推進事業	H27 ~	霞ヶ浦の観光資源を活かし、市へのサイクリング来訪者を増やすために、レンタサイクルの実施、サイクリングマガジンを発行する。	8
高速バス試験運行事業	H28	周辺市町村と連携した圏央道北東エリア連携交流協議会を発足させ、地域住民の足及び外国人観光客等の来訪のため、成田空港への高速バス運行の社会実験を実施する。	49
稲敷ライスミルクプロジェクト事業	H28 ~	産官学金の連携により、市内産のコメを活用した「生ライスミルク」を商品開発し、清算から加工までの6次産業化を目指します。	6
第2次総合計画策定事業	H27 ~ H28	市の最上位計画である総合計画について第2次の計画を策定し、長期的な視点に立った姿勢運営に努めます。	15

②今後の主要課題・特色ある行政等

<主要課題>

- ・小中学校、公共施設等の適正配置
- ・公共交通体系の整備
- ・企業誘致の推進
- ・圏央道を活用した産業の活性化

<特色ある行政>

- ・地域おこし協力隊による市の魅力発信
- ・閉校した小学校を活用した企業誘致
- ・情報通信技術の活用(タブレット端末等の活用)